

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人みずほ愛育会
施設名	Kid' s Garden きらり保育園
報告者（役職）	前野 和子（園長）
住所・連絡先	埼玉県富士見市鶴馬 2 - 1 7 - 3 2
	☎ 049-255-1234
	E-mail kirarikids@nifty.com

○タイトル（保育計画）

思い切り身体を使って遊ぼう！

○主な助成備品

- ・ 1・2 歳児用雲梯
- ・ 幼児用雲梯



1. 保育計画策定の目的

本園では「エデュカーレ」と称して、週1回3～5歳児を対象に専門講師による運動遊びを実施している。

そして毎回体験したことを現場の保育士たちでアレンジし日常の保育に取り入れている。遊びを通して丈夫な心身を育み、身体能力を高めるということを目的として行っている。

また0～2歳児も簡単な運動遊びを取り入れ、「体を動かすことが楽しい！」と体験できる時間を大切にしている。

これまでは鉄棒やマットを使用した「サーキット活動」で安全能力や身体能力が向上してきたが、子どもたちの運動レベルも向上してきて「もっとやりたい！」という子どもが増えている。

そこで、小さい頃からたくさんの体験をし、より良い環境でのびのび遊ぶことを目的として遊具を設置したいと考えた。

2. 具体的な実施内容



1・2歳児用の雲梯は、回遊遊びができるよう環境構成を考え、ログハウスの近くに設定した。自分の体重を両腕で感じながら、ぶら下がり遊びを楽しんだり、階段を使い上ったり、横に移動したり、たぐり渡りをする事で、思い切り身体を使って遊ぶことができた。



幼児用は屋上に設置し、ぶら下がりや身体をたくさん振ってダイナミックに楽しんだ。いろいろな動作を行うため、脳が活性化し判断力の向上にもつながる。

まずは両手をきちんと前に出して降りるという動作からスタートし、ぶら下がり降り、たぐり渡り、など苦手な子もチャレンジできるよう遊びを提供した。

<行った動作>

ぶら下がり、たぐり渡り、たぐり渡り→折り返し、振り渡り、階段登り階段降り、上でクマさんのようになり横移動、片手ぶら下がり等

3. その成果と評価

・ 1・2歳児

楽しそう！やってみたい！と意欲的であり、たくさん経験することができている。上のクラスを見て模倣する子どもも多くいた。

ぶら下がりをしたことで、体の「りきみ」が取れて、安全に降りることができたり、自分の体重を支える筋力も高まった。

・ 幼児

雲梯を始めた頃は、初めて経験する子どもも多く「怖い」「できない」など戸惑っている姿も見られた。

しかし、楽しみながらたくさん経験することで、あきらめずに頑張ろうとする気持ちが持てるようになり自信につながった。

また、着地時には両手を前に出して手をつけて遊ぶ動作から始め、段階的に活動してきたことで、苦手な子も無理なく参加して楽しむことができた。

得意な子は、意欲的にチャレンジしていろいろな技をこなすことができるようになり、身体能力の向上へとつながった。

助成いただいた遊具で、握力・筋力・全身の力・能力・体幹・体感・バランス力等いろいろな能力を育んでいる。

4. 今後の課題と展望

今後も運動遊びを継続することは大切であり、毎日身体を動かす習慣を身につけることで心身ともに大きく成長できるように支援していけるとよい。

今まで段階的に取り組んできた遊びをもっと発展させ、子どもたちの「もっとやりたい！」という意欲につなげていきたいと考える。

そして、保育士一人ひとりが子どもの発達や育ちを把握し、「その子に合った」「そのクラスに合った」遊びを提供できるとようになると良いと思う。

以上